

○常任委員会○

長岡市議会では「総務」「文教福祉」「産業市民」「建設」の四つの常任委員会が設置されており、議員はいずれか一つに所属します。
常任委員会では、本会議の付託を受けてその部門に属する議案を審査するほか、委員会の所管事項に関する質問を市長や関係機関に対して行います。
6月定例会における所管事項に関する質問は5ページをご覧ください。

総務委員会

地方創生推進部、DX推進部、総務部、財務部、財産管理部、
危機管理防災本部、原子力安全対策室などに関連する事項を審査



※議長は委員外

文教福祉委員会

福祉保健部および教育委員会に関連する事項を審査



産業市民委員会

地域政策部、市民協働推進部、環境部、商工部、観光・交流部、農林水産部、
消防本部などに関連する事項を審査



建設委員会

都市整備部、中心市街地整備室、土木部、水道局に関連する事項を審査



議員表彰

全国市議会議長会および北信越市議会議長会から、永年にわたり市政発展に尽くした功績が認められ、3人の議員が表彰されました。



山田 省吾 議員 (議員在職20年) (副議長在職4年)
関 正史 議員 (議員在職25年)
田中 茂樹 議員 (議員在職10年)

〈目次〉

委員の改選、補正予算の概要、議員表彰	1
一般質問	2
可決した意見書、政務活動費収支報告	4
常任委員会の所管事項に関する質問、会派別議案等賛否一覧表	5
市議会の活動状況	6

補正予算を可決

6月定例会は6月9日から6月23日までの15日間の会期で行われました。令和8年度一般会計補正予算など市長提出議案等40件、委員会提出議案2件、請願1件を審議しました。
議案等の審議結果は、5ページの「会派別議案等賛否一覧表」をご覧ください。

6月定例会で審議しました

■災害復旧事業費（融雪災害・地すべり災害）

1億5805万3千円

■駐車場整備事業費

744万円

■風会館管理費

4300万円

■女性活躍推進事業費

100万円

ほか

五十嵐 良一
(長岡令和クラブ)柏崎刈羽原発の
再稼働問題について

問 県が作成したリーフレットは、地震や大雪時の避難など実効性がないと思われるが、市の見解を伺う。

答 リーフレットは、柏崎刈羽原子力発電所の現時点での安全対策と防災対策を広く県民に周知するため、ポイントを分かりやすく紹介したものと認識している。その内容に関してさまざまな指摘があることは、報道等により承知している。また、県においても伝えるべき情報を整理し、わかりやすさなども踏まえて作成されたものと受け止めている。引き続き

き県としつかりと情報共有をしながら、柏崎刈羽原発の安全対策、防災対策を進めていきたいと考えている。

市政を支える職員・人材に
関する課題について

問 職員のエンプロイーエンゲージメントについて伺う。

答 本市では、職場への貢献意欲を高めるための取り組みとして、所属長による職員面談や自己申告書により希望する部署や業務分野を把握し、適材適所の人員配置に努めている。また、職員の意見や提案が業務に生かされる風通しのよい職場環境づくりを進めている。さらに、DXによる徹底した業務改革を推進し、能力を最大限発揮できる働きやすい職場への変革も不可欠と考える。今後引き続き職員のエンプロイーエンゲージメント向上のための取り組みを進め、市民サービスのさらなる向上につなげていく。

豊田 朗
(市民クラブ)水道料金改定後における
事業運営と市民理解の
確保について

問 今回の料金改定に関する周知の取り組みが市民の理解や納得にどの程度つながっているか、市の見解を伺う。

答 今回の水道料金改定については、水道だよりやホームページ、検針時のチラシ配布などにより、段階的かつ継続的に周知を行ってきた。水道局に寄せられる意見としては、家庭や事業所ごとの具体的な影響額に不安を感じるといった声がある一方で、施設の更新や耐震化の必要性については理解するという声をいただいている。水道局としては、使用状況に

よって負担の感じ方が異なることから、納得の程度には差があるものの、市民の理解は着実に進んでいるものと認識している。

今後の水道事業運営における
市民との合意形成をどのよ
うな考え方やプロセスで図ってい
くとしていくか、市の見解を伺う。

答 水道事業は、市民生活を支える最も重要な基幹インフラの一つであり、その安定的な運営のためには、市民の理解と信頼が不可欠である。本市は今年水道通水100年の節目を迎えるなかで、老朽化への対応や災害への備えなど、将来に向けた課題に適切に対応し、安全な水を市民に供給していく責任がある。負担をお願いするに当たり、経費の削減、事業の効率化に引き続き全力で取り組んでいく。市民に対しては、料金改定の必要性、改定後の取り組みについて、分かりやすく丁寧な説明を行いながら、理解を深めていただけるように努めていく。

波多 恵理
(市民クラブ)長岡市におけるバイオ産業創出
と成長のための戦略について

問 長岡の強みである地域特性をどのように生かしながら、バイオ産業創出を進めていくのか市の考えを伺う。

答 本市は、稲作農業を基盤として形成、発展してきた発酵産業が地域の伝統文化を育んできたことに加え、全国有数の先端技術をもつ学術機関と企業集積が評価され、国の地域バイオコミュニティに選ばれた。市の総合計画の柱にバイオマス資源を活用した新産業の創出を掲げている中で、国が進める地域未来戦略も活用してバイオ分野の産業クラスターの形成を目指し、大規模な投資を呼び込んでいきたい。

多文化が共生するまちの
実現について

問 モンゴル高専人材活用プロジェクトについてどのような理念の下で進めているのか、また、市民理解をどのように深めていくのか伺う。

答 本プロジェクトは、モンゴルの高専生が県内企業でインターンシップを行い、高度な技術を現場で体験するもので、令和6年度に開始した。体験を通じてさらに技術を身につけたいと希望する学生から、インターンシップ終了後、改めて就職してもらい、数年後、技術と知識をモンゴルへ持ち帰って活躍してもらう人材の循環という理念の下に取り組んでいる。令和6年度は83人の応募者のうち、10人がインターンシップに参加した。令和7年度は135人の応募があり、8人が参加している。このプロジェクトの理念を市の広報媒体等を通じて発信し、市民に理解していただけるように今後も取り組んでいきたい。

大竹 雅春
(無所属)地域資産としての学校施設の
有効活用について

問 学校跡地、廃校施設の活用が進みにくい要因を市はどのように捉えているか伺う。

答 活用が進みにくい要因には、活用が建物の老朽化対策に加え、利用目的に応じたりノーションに多額の費用を要する場合が多く、建築基準法などに対応するための手続きや改修が必要となるなどが挙げられる。また、学校施設によっては民間ニーズ等の適性が難しいケースがあるほか、立地条件等の制約から、事業として採算性を確保しにくい点も課題

である。さらに、地域住民の思い入れが強い施設であることから理解を得るために時間を要する場合があることも一因と考えている。

問 学校開放制度の現状と課題について、どう把握しているか市の見解を伺う。

答 学校開放については、令和7年度で約800の団体が利用しており、市民ニーズが非常に高いものと認識している。利用団体の傾向は、ほとんどが地域住民やスポーツ少年団等のスポーツ活動となっている。課題は、利用申し込みが重なった場合の調整や鍵の貸し出し等で学校側の事務負担が大きいことが挙げられる。なお、鍵の貸し出しに関しては、令和7年度から中学校3校にリモートロックの導入を開始し、利用者および各学校の負担軽減を図っている。今後も利用状況を確実しながら、順次整備を進めていく。

笠井 則雄
(共産党市議団)デマンドタクシーなど
公共交通体系充実の
諸課題について

問 令和10年度からの長岡市地域公共交通計画について、旧長岡市民は、買い物や通院の移動支援強化を求めているが、新計画への反映について市の見解を伺う。

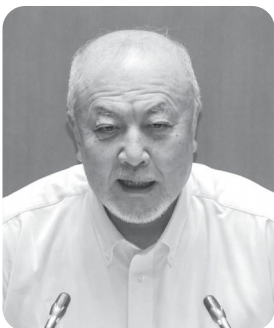
答 本計画の改定は、人口減少や高齢化の進展、運転士不足といった課題に対応しながら、自家用車を使わなくても安心して暮らせるまちの実現に向けた重要な取り組みであると考えている。市民生活を支える公共交通体系の確立と地域の実情に応じた移動手段の確保に取り組みとともに、自動運転など交通DXの活用も視野に

入れ、運転士不足への対応と利便性の向上を図りながら、持続可能な交通体系の構築に取り組んでいく。

長岡市ひきこもり実態調査と
対応策等について

問 どこにもつながっていない当事者の声にどのように耳を傾けることができるのか課題と感じているが、今後の息の長い支援について伺う。

答 どこにもつながっていない方の声をどのように把握していくかは、大きな課題であると認識している。支援の手からこぼれやすい状況にあることから、地域における気づきやつなぎの機能が非常に重要であると考えている。引き続き支援につながりやすい環境づくりを進めるとともに、伴走型の支援も着実に積み重ね、息の長い支援体制の構築に努めていく。

●その他の質問
長岡市がんばる地域企業基本条例
に基づく産業振興施策について関 充夫
(長岡令和クラブ)

中心市街地活性化について

問 大手通坂之上地区の再開発事業の終わりが見えてきている中で、事業費の総額と市の負担額はいくらかとなったのか伺う。

答 現時点での事業費は総額で約303億円となっており、国庫補助金や民間からの投資額を除いた本市の実質的な負担額は約108億円となっている。

問 空き建築物となるながおか市民センターを、再開発事業が始まるまでの期間そのままにしておくことは、中心市街地活性化の観点から問題があるか考えるが、利活用の方向性について伺う。また、再開発事業が決まった場合、

事業への市の補助金ほどのくらいになると想定しているか伺う。

答 中心市街地はアオーレ長岡や、ミライエ長岡などの取り組みにより一定の賑わいが創出されている状況であり、ながおか市民センターの暫定的な利用は設備等の追加費用や管理費用の規模を考慮して慎重に検討する必要があると考えている。最近では、ウイルス禍の影響で停止していた道路への椅子出しといった取り組みも長岡造形大学の学生によって行われている。まちなか全体でこのような動きが出てきていることから、市としては、再開発を進めると同時にソフト面の取り組みも促進していきたいと考えている。

事業費の想定については、現在検討を進めている事業への制約となる恐れがあることから、仮定の数字だとしても示すことはできない。



議会の臨場感をスマホでも！

各議員の顔写真の右下に二次元コードを掲載しています。スマートフォンやタブレットで二次元コードを読み取ると、それぞれの議員の一般質問を動画でご覧いただけます。



藤井 達徳
(長岡市公明党)

空き家対策について

問 今後の空き家対策として、第3期空家等対策計画の中で、目標をどう定め、どういった内容をどう進めていくのか、市の見解を伺う。

答 第3期空家等対策計画では、空き家をこれ以上増やさないことを目標に、地域の実情に沿った実効性のある計画を策定できるように、具体的な施策を検討していく。主な検討項目として、空き家バンクへの登録をプッシュ型で案内する等、登録促進を図る。また、空き家バンク等による流通が実らず売却等に結びつかない場合の解体費用の支援策の在り方等を検討したいと考えている。進め

方については、長岡市空家等対策協議会の中で議論を進め、パブリックコメント等を経て、今年度末に市として計画を策定する予定である。



服部 耕一
(共産党市議団)

イラン情勢に伴う本市の緊急経済対策について

問 重点支援地方交付金の追加措置分の活用も考慮に入れた今後の経済対策について、イラン情勢の影響を受ける中小企業等への支援や子育て世帯や物価高に苦しむ低所得世帯への支援などが必要と考えるが、市の認識と今後の方向性について伺う。

答 重点支援地方交付金については、本市への交付限度額が約1億1000万円と示された。国からの配分額が極めて少額であることから、当面支援が必要と思われる分野に限定せざるを得ないと考えており、指摘のあったような影響を踏まえて検討しているところである。内容を固め次第、早急に諮りたいと考えている。



柏崎刈羽原発の再稼働問題について

問 営業運転に移行したことを機に、市民に対して原子力災害発生時の避難計画を改めて周知徹底すべきと考えるが、市の考えを伺う。

答 本市では、万が一の原子力災害時における屋内退避や避難など、基本的な行動を記載したパンフレットを全戸配布しているほか、町内会や自主防災会に市政出前講座を実施するなど全力で周知に取り組んできた。今年度は、国や県の各種計画の改正を踏まえ、市の地域防災計画および避難計画の見直しを行うとともに、パンフレットもリニューアルし、改めて全戸配布する予定としている。今

後もさまざまなツールを活用し、原子力災害時の適切な行動についてより一層の理解が得られるよう努めていく。



金子 陽奈子
(市民クラブ)

長岡市内の大学等に進学した学生への支援について

問 本市の生活情報や魅力を発信することが必要と考えるが、市の取り組みについて伺う。

答 学生への生活情報の提供や生活上の困りごとの相談対応は一義的に学校が行っている。これに加え、市では転入手続きの機会や各種広報媒体を活用して必要な情報を提供するとともに、市公式LINEに学生向けの配信区分を設け、本市の魅力に関する情報を積極的に発信している。また、令和6年度からは、学生自身が学生の視点で長岡の魅力を発信する「インスタグラム」ながおかヒストコトを開発し、学生をはじめとする若者に対してさまざまな情報を発信している。



田中 茂樹
(市民クラブ)

持続可能な農業について

問 意欲を持って営農を続けるには、稼げる農業でなくてはならないと考えるが、ライスレジンや6次産業化の推進など、収入向上のための施策について伺う。

答 収入向上に向けて、規格外品の活用は重要な視点だと考えている。ライスレジンは石油系プラスチックの使用量を削減できるため、昨今の石油原料の資材不足にも対応可能であり、これまでに以上価値や有効性が高まることを期待している。6次産業化の推進については、市内で生産される農畜産物を活用した新たな商品の開発に対して継続的に支援して

おり、多くの事業者が規格外品を活用した加工品の開発に取り組んでいる。

問 農家が生き生きと取り組み、後継者に安心して継承できる農業の実現に向けた市の施策方針について伺う。

答 これは、日本の将来にとっても大きな政策課題であると認識している。特に米作りは、現在厳しい状況にあるものの、スマート農業に最も適した分野だと考えており、効率化、省力化、コスト削減の観点から将来的に大きな可能性を有していると考えている。近年、米の輸出が増えていることから、今後は米を増産し海外に売っていく時代になると考えている。また、観光面も含めたトータルな循環型地域バイオコミュニティを推進し、農業の価値を高め、持続性も作っていくことで、農業を本市の持続可能な成長産業として育てていきたい。



長坂 将志
(共産党市議団)

昨冬の大雪被害を受けての課題と今後の対応について

問 災害救助法の適用範囲を市内全域に広げよう国・県に働きかけるべきと考えるが、市の見解を伺う。

答 災害救助法の適用については、県が旧市町村単位での過去30年間の平均最大積雪深を目安として国と協議の上決めている。本市は、海沿いから山間部までと地域が広く、市内でも積雪の状況が大きく異なることから、旧市町村単位での適用は一定の妥当性があるものと認識している。一方で、適用地域と同様の積雪状況でありながらも適用対象とはならない地域が生じていることは課題である

と認識している。市として、県に対し本市の実情を丁寧に伝えるなど必要な働きかけを行っていきたいと考えている。



池田 明弘
(長岡市公明党)

玄関先除雪人的支援事業について、令和7年度の実績を踏まえ、見えてきた課題とモデル地区拡大への市の考えを伺う。

答 本事業は、令和7年度から栃尾地域の3地区において試行的に実施し、冬期間における生活不安の軽減、安全性の確保など、一定の効果があつたものと認識している。一方で、本事業の支援対象は、既存の要援護世帯除雪費助成事業の対象要件を基本としているが、屋根雪下ろしと玄関先除雪では作業の頻度や内容が大きく異なることから、よりの確な支援対象者の要件設定が課題であると認識している。今後、試行事業の事例を増やし検証の有効性を高めるため、実施体制の整ったモデル地区の追加を目指していく。



身寄りのない高齢者の「身元保証」と「終活・死後事務」への支援について

問 身元保証や死後事務を家族に頼ることが難しい単身高齢者について、支援につながる人も含めた実態把握と、民間終身サポート事業者の登録認証制度について、市の見解を伺う。

答 実態把握については、全国規模の調査結果をガイドライン策定の参考資料としており、現場対応の事例集も併せて作成しているため、実態把握の機能は果たせると考えている。支援につながるという方については、機関の連携を通して見つけ出していくように努力していく。登録認証制度については、公平性の確保など

の観点から、国による統一的な制度設計が望ましいため、今後の国の動向を注視するとともに、必要に応じて国へ要望していく。



長岡市の教育について

問 認知症高齢者や障害者の親戚、亡き後を地域で支えるには、成年後見制度を柔軟に利用できる体制が必要である。市民後見人や法人後見の担い手育成・活動支援について、市の見解を伺う。

答 市および成年後見センターでは、市民後見人の育成に取り組み中であり、養成講座修了者のうち4名から市民後見人として活動する意思を確認している。認知度が低いことが課題であり、円滑に受任できる体制整備を検討する必要がある。法人後見については、社会福祉協議会を中心とした体制の安定的な運用を図るとともに、社協以外の担い手育成や活動の在り方についても、先進自治体や関係機関と意見交換を行いながら研究していく必要がある。



長岡市の教育について

問 本市の小・中学校において、県の基準である1学級35人を超えた背景と経緯、今後の対応について伺う。

答 本市では年度当初から県の基準を満たさない学校が3校あり、そのうちの2校については教職員の人材確保が困難であったことから、教職員の未配置が生じるため基準を超える児童生徒が生まれるため、当該学年の教員数を1校については、当該学年の教育活動を円滑に行うために学級間での人数を調整した結果、基準を超える状況が生じた。市としては、

さまざまな事情がある中でも、国が推し進めている教育改革に基づき、県の基準に従わないことは適切でないと判断した。1校についてはすでに再編制を行っており、残りの2校についても学校内の体制を整え、児童生徒にとって最適な時期を見極めた上で再編制を行いたいと考えている。

問 PTAの意義、目的の整理と新しい取り組みなど本市のPTAの現状について伺う。

答 PTAは、保護者と教職員が連携し、子どもたちの健全な成長を支えることを目的とした任意団体であり、家庭、学校、地域をつなぐ重要な役割を担っているものと認識している。近年は少子化の進行や価値観の多様化を背景に、参加しやすい仕組みづくりや活動の負担軽減を目的とした運営方法の見直しが進められていくと聞いている。

※2 ライスレジン：米由来の国産バイオマスプラスチックのこと。



衣川 広志
(ながおか新緑風会)

学級編制の再編について

問 一度適法となった行政行為を是正するには、是正の有無による利益を比較する必要があると考えるが、事前にそのような検討が行われたのか伺う。

答 義務標準法にある35人学級編制の趣旨を踏まえ、当初の学級編制において県の定めた基準に従わないことは適切ではないと認識している。したがって、児童生徒への影響は考慮しつつも、比較検討する前には是正すべきものと判断し、市として再編制を行った。

問 法的根拠が十分でない指導によって、子どもの最善の利益

益が優先されなかったと感じているが、市の認識を伺う。また、今回の再編制に該当した児童生徒に謝罪を行う必要があると考えるが、市の考えを伺う。

答 学級を再編制すること子どもたちに負担がかかることは重く受け止めている。新しく編制された学級においては、学校と連携し、子どもたちにとって最善の利益を優先した教育活動が展開できるように努めていく。

学級の再編制によって子どもたちに影響を与えていることは大変申し訳なく思っている。学校と連携して、児童生徒・保護者に説明を尽くし、十分な理解が得られるような対応に努めていく。また、謝罪の方法についても学校と相談し、対応していきたいと考えている。

●その他の質問

- ・外部団体の設立・管理に関するガバナンスの明確化について



三澤 寛人
(ながおか新緑風会)

国民健康保険料の前納制度と海外転入者への収納向上策について

問 前納制度導入について、実態把握と費用対効果の整理を踏まえ、どのように判断したのか伺う。また、今後どのような条件や課題整理がされた場合に導入を検討するのか伺う。

答 前納制度の対象となる海外転入者における令和7年度の滞納額は、市全体の滞納額の約0.16パーセントであり、前納制度導入による効果は限定的であると見込んでいる。加えて、本市では外国人の方も保険料を適切に納付していることや、分割のほかが加入者にとって納付しやすいことなどから、前納制度の導入を見

送ることとした。今後については、滞納世帯の状況変化、国の制度運用等を注視した上で判断していく。

PTA連合会への公費支援とPTA運営の適正化について

問 市P連が作成した資料にPTA未加入の児童が行事に参加できない、登校班に入れない可能性があるかのような記述があることについて、市の考えを伺う。また、関係職員に対し、PTA未加入を理由として児童に不利益を生じさせてはならないことを改めて明確に通知、周知すべきと考えるが、市の見解を伺う。

答 資料の記述については、一部誤解を生じさせる表現があったものと受け止めている。PTAの加入の有無によって児童生徒の取り扱いに差が生じることは、あつてはならないものと認識している。改めて市P連や学校等に対して、PTAの加入に係る誤解が生じないように、周知徹底を図っていく。

6月定例会で可決した意見書

皇室の伝統に基づく安定的皇位継承の国会論議促進に関する意見書

悠仁親王殿下は、令和7年9月、秋篠宮皇嗣殿下以来40年ぶりとなる男性皇族として成年式をお済ませになりました。9月6日の「加冠の儀」をはじめ、成年式関連の諸儀式及び諸行事が滞りなく執り行われたことは、誠に慶賀に堪えないところであります。

悠仁親王殿下は、皇位継承順位第2位であり、やがて皇位を御継承されることになります。しかし現状の皇室制度のままでは、悠仁親王殿下をお支えする男子皇族が一人もおられない事態も想定せざるを得ません。

政府から国会に検討の要請がなされてから、はや4年が過ぎました。皇族数の確保、ひいては伝統的な皇位継承の安定を図ることは、我が国の根幹に関わる重大事であります。

よって、国会及び政府におかれては、悠仁親王殿下が皇位を御継承になられた際に、お支えする皇族が十分おいでになるよう、国会における論議を進め、一刻も早くその総意を取りまとめるよう要望します。

(送付先) 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣



～意見書とは～

市民生活に重要なことで、それが国や県の仕事である場合、市の力では解決できないことがあります。このようなとき、議会の意思を意見としてまとめ、国会や県などに伝える手段のことをいいます。

令和7年度 政務活動費収支報告

政務活動費とは、議員の調査研究活動の充実を図るために必要な経費の一部を補助するものです。本市では、議員1人当たり月額6万円を会派に交付しています（会派に属していない議員は、所属議員が1人の会派を結成しているものとみなして交付しています）。

領収書等の証拠書類の写しは、アオーレ長岡（東棟）3階の総務課情報公開コーナーおよび市議会ホームページでご覧いただけます。

(単位：円)

会 派 名		市民クラブ (11人)	長岡令和 クラブ (7人)	日本共産党 長岡市議会 議員団 (3人)	長岡市 公明党 (3人)	市民さわやか クラブ (2人)	無所属 (三澤寛人)	無所属 (衣川広志)	無所属 (大竹雅春)	無所属 (桑原 望)	無所属 (水科三郎)	無所属 (関 貴志)	無所属 (加藤議長)	無所属 (池田議長)	合 計
収入の部	政 務 活 動 費 ①	7,920,000	5,040,000	2,160,000	2,160,000	1,440,000	720,000	720,000	720,000	720,000	720,000	720,000	120,000	600,000	23,760,000
	雑 入 ②	5,125	2,166	1,093	1,433	883	767	721	772	311	810	826	0	333	15,240
	合 計 ③	7,925,125	5,042,166	2,161,093	2,161,433	1,440,883	720,767	720,721	720,772	720,311	720,810	720,826	120,000	600,333	23,775,240
支出の部	調査研修(研究)費	4,247,872	2,593,370	151,320	835,375	873,020	89,111	240,539	478,824	31,300	182,389	88,948	20,868	111,759	9,944,695
	広 報 広 聴 費	1,431,066	1,387,805	1,630,410	251,163	29,755	0	218,982	116,030	356,400	0	318,457	0	0	5,740,068
	要請・陳情活動費	39,360	0	0	0	39,360	0	0	0	0	0	0	0	0	78,720
	資 料 費	950,426	574,818	202,862	165,431	57,906	55,990	6,380	48,000	75,940	223,080	35,000	6,361	88,819	2,491,013
	情 報 通 信 費	766,782	276,433	65,541	264,687	167,698	76,014	21,847	59,389	90,047	68,241	44,512	10,645	49,370	1,961,206
	人 件 費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	事 務 所 費	0	0	0	0	0	0	0	0	111,650	0	0	0	0	111,650
	事 務 費	489,619	164,741	92,812	302,575	75,533	35,838	0	18,529	46,046	23,429	8,253	8,525	42,956	1,308,856
合 計 ④		7,925,125	4,997,167	2,142,945	1,819,231	1,243,272	256,953	487,748	720,772	711,383	497,139	495,170	46,399	292,904	21,636,208
収支差引残額 ③－④		0	44,999	18,148	342,202	197,611	463,814	232,973	0	8,928	223,671	225,656	73,601	307,429	2,139,032

※収支差引残額は、市に返還されます。雑入の内訳は、全て預金利息です。

※無所属（加藤議長）は、会派の解散に伴い令和7年6月12日付で収支報告書を提出し、収支差引額は市に返還済みです。

6月定例会 常任委員会の所管事項に関する質問

総務委員会

- 庁舎における物品販売や勧誘行為の実態とハラスメントへの対応
 - 期日前投票や不在者投票の実態と若者の投票を促す取り組み
 - ふるさと納税サイトの運用に対する市の認識
 - 総合計画を踏まえた県との提案型の連携、一層の連携による市独自政策の推進
 - 原発事故時の屋内退避の理由と正しい情報発信
 - リニューアルした長岡戦災資料館の現状と今後の方向性
 - 公共工事における週休2日制の実態と物価高騰や人手不足の影響
- ほか

産業市民委員会

- 長岡市民スポーツ応援団の活動とスポーツ協会100周年を踏まえた取り組み
 - 長岡市内の各種まつりに対する今後の支援と継承、魅力を伝える情報発信
 - クマ鈴の効果、小学校等への配布状況および捕獲の担い手確保
 - イラン情勢等に伴う市内企業への制度融資の実績と貸付金利の維持
 - 与板体育館改修工事の利用者や地域住民への説明と入札成立に向けた工夫
 - 新栃尾消防署の現状と今後の取り組み
- ほか

文教福祉委員会

- 1学級の児童生徒数が35人を超えた問題
 - 病児保育の現状と市の認識
 - 地域コミュニティにおける子どもを育むための環境づくり
 - 部活動の地域移行の現状と課題
 - 学校外における子どもたちの故郷に対する学び
 - 5歳児健診実施に向けた人材確保および支援体制整備
- ほか

建設委員会

- 消雪パイプの所有形態と維持管理費用の在り方
 - 請願道路の新規採択要件見直しの概要、取り組み状況および今後の対応
 - 公共空間を活用した自主財源確保とまちの魅力向上に寄与する取り組み
 - 水道通水100周年事業の目的と概要
 - 使用済みマンホール蓋販売の目的、概要および実績
 - 今後の舗装管理における健全度の把握、優先順位付けおよび市民への情報発信
 - 舗装修繕の件数増加への認識と今後の体制づくりおよび対応
- ほか

会派別議員名簿(6月23日現在)

市民クラブ	田中 茂樹 多田 光輝 波多 恵理 加藤 尚登 松井 一男 五井 文雄	豊田 朗 金子陽奈子 二ツ家 和樹 丸山 広司 丸山 勝総
長岡令和クラブ	神林 克彦 高橋 美里 五十嵐 良一 関 充夫	松野 憲一郎 笠井 綾華 山田 省吾
共産党市議団	笠井 則雄 長坂 将志	服部 耕一
長岡市公明党	池田 明弘 藤井 達徳	中村 耕一
市民さわやかクラブ	関 正史	酒井 正春
ながおか新緑風会	衣川 広志	三澤 寛人
無所属	A 大竹 雅春	
	B 桑原 望	
	C 水科 三郎	
	D 関 貴志	
	E 池田 和幸（議長）	

各種行政委員の選任・推薦に同意

6月23日の本会議最終日において、農業委員会委員24人（再任15人・新任9人）を選任することに同意しました。また、次の方を人権擁護委員に推薦することに同意しました。

佐々木信和氏（再任）
勝沼文恵氏（新任）

会派別議案等賛否一覧表

○：会派全員が賛成 ×：会派全員が反対

議案等		会派名 ()は所属議員数		市民クラブ (11)	長岡令和クラブ (7)	共産党市議団 (3)	長岡市公明党 (3)	市民さわやかクラブ (2)	ながおか新緑風会 (2)	無所属 A	無所属 B	無所属 C	無所属 D	議決結果
市長提出議案等	専決処分	専決第3号 市税条例の一部改正	ほか2件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
	補正予算	令和8年度一般会計	ほか3件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	条例	制定	原子力発電施設等立地地域における固定資産税の特別措置に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
		廃止	企業立地促進条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
		一部改正	市税条例	ほか5件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	その他	和解		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
		和解及び損害賠償		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
		市道路線の認定、変更及び廃止		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
		契約の締結（川崎東小学校校舎等大規模改造工事）		ほか7件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
		財産の取得（スポットクーラー）		ほか13件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
人事	農業委員会委員の選任			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	人権擁護委員の推薦			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
提出議員提案会	意見書	皇室の伝統に基づく安定的皇位継承の国会論議促進に関する意見書		○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	原案可決
	その他	専決処分事項の指定についての一部改正		○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	原案可決
請願	皇室の伝統に基づく安定的皇位継承の国会論議促進に関する請願			○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	採択

9月定例会の日程

8	9	10	11	14	15	16	17	24	25	28	30
火	水	木	金	月	火	水	木	木	金	月	水
議会運営委員会 （招集日）	本会議（※）	本会議（※）	本会議（※）	建設委員会	産業市民委員会	文教福祉委員会	総務委員会	決算審査特別委員会	決算審査特別委員会	決算審査特別委員会	本会議（最終日） 議会運営委員会

（※）9月9日(水)～11日(金)の本会議は、一般質問者の人数により日程が短縮される場合があります。

本会議

- ・開 会 午後1時
- ・傍聴受付 午後0時30分からアオーレ長岡西棟2階（傍聴受付）にて
- ・定 員 65人、車いす席2人、親子傍聴席10人

議会運営委員会

- ・開 会 午前11時30分
- ・傍聴受付 午前11時からアオーレ長岡西棟4階（議会事務局）にて
- ・定 員 12人

その他委員会

- ・開 会 午前10時
- ・傍聴受付 午前9時30分からアオーレ長岡西棟4階（議会事務局）にて
- ・定 員 12人

市議会の活動状況

8月8日 長岡市子ども議会を初開催

長岡市議会初となる「長岡市子ども議会」を開催しました。これは、令和7年3月に議員提案により制定された「長岡市子ども・若者の権利条例」に基づき、子ども・若者の思いや意見を大切にすまちづくりを進めている中で、議会への関心を高めるとともに、子どもたちが主体的に意見を表明する機会として実施したものです。

公募で集まった市内の中学生13人が参加し、7月11日と25日に事前学習会を行いました。議会の役割や仕組みについて学んだ後、4つの班に分かれ、議員の助言を受けながら、学校生活や地域の課題、長岡をより良くするための提案などについて話し合いました。中学生ならではの視点から活発な意見交換が行われました。

当日は中学生議員として、緊張感のある議場で本会議と同様の一般質問を行い、自分たちの考えを自らの言葉でしっかりと述べていました。市長と教育長から、市の現状やこれまでの取り組み、今後の方向性などについて答弁がありました。



中学生議員による一般質問の様子



議場にて記念撮影

一般質問一覧

1班 子どもたちが長岡に残りたいと思えるまちづくりについて

空きスペースの活用、地域イベントによる住民同士のつながりの復活、長岡花火に次ぐビッグイベントで財源を循環させることについて

2班 充実した学校生活について

図書室の放課後開放、タブレット端末の使用環境、冷凍庫やエアコンの全教室設置、歩道の自転車通行、冬期間の登下校、歩道照明について

3班 未来を担う若者が新しい視点で考えた住みやすい地域モデルの提案について

通学路の安全対策や除雪、中山間地域の人口減少、防災教育、ごみ対策、学校での暑さ対策や個に応じた学習方法について

4班 長岡の魅力を高め、よりよく暮らしていくための施策について

長岡花火のチケット販売や迷惑駐車対策、中高生の居場所づくり、自転車の安全な通行環境について

7月24日 大河津分水・長岡東西道路整備推進特別委員会を開催

大河津分水・長岡東西道路整備推進特別委員会を開催し、大河津分水路の改修事業と長岡東西道路について、質疑や意見交換を行いました。大河津分水路の改修事業の概要については、市から説明があったほか、国土交通省信濃川河川事務所長から事業の詳細や実施状況について説明がありました。長岡東西道路については、これまでの事業経過や新潟県事業、関連道路の整備状況等について市から説明がありました。



特別委員会の様子

7月30日 中越地区市議会合同議員研修会に参加

毎年、中越地区の市議会議員が一堂に会して合同研修会を行っています。

今年は小千谷市民会館で開催され、大阪大学大学院人間科学研究科の渥美公秀教授から「中越大震災からの復興～塩谷で過ごさせて頂いた20年～」と題した講演がありました。



渥美氏の講演の様子

5月		
	8日	議会運営委員会
6月		
	5日	議会運営委員会
6月定例会(15日間)	9日	議会運営委員会 本会議(招集日)
	10日、11日	本会議
	16日	建設委員会
	17日	産業市民委員会
	18日	文教福祉委員会
	19日	総務委員会
	23日	議会運営委員会 文教福祉委員会 産業市民委員会 総務委員会 本会議(最終日)
7月		
	24日	大河津分水・長岡東西道路整備推進特別委員会 議会運営委員会
8月		
	7日	議会運営委員会

8月1日 長岡市平和祈念式典に出席



式典であいさつする池田議長

長岡市主催の「長岡市平和祈念式典」がアオーレ長岡のアリーナを会場に開催されました。

県内唯一の大規模戦災都市として戦没者を追悼し、平和の尊さを世界に発信するため、式典の始めに黙とうがささげられた後、池田議長のあいさつや戦災殉難者遺族代表等による献花、長岡空襲体験者のお話、広島平和記念式典派遣中学生による平和の誓いなどが行われました。

8月1日、2日 ホノルル市議会議員が来岡

長岡まつりの開催に合わせ、ホノルル市議会のスコット・ニシモト議員が長岡を訪れました。

ホノルル市議会と長岡市議会は、平成26年に交流に関する覚書を取り交わし、以来両市の相互交流を進めながら、文化、教育、スポーツ、そして平和の観点からお互いの理解を深め発展に努めています。ホノルル市議会議員の来岡は、ウイルス禍後、初となります。

8月1日は、長岡到着後すぐに「鎮魂たむけの花」を訪れ、献花をしていただき、夕方には、柿川灯籠流しに参加、平和祭の大民踊流し、越後長岡慰霊神輿渡御を見学しました。2日は、ニシモト議員と池田議長、中村副議長、豊田総務委員長が懇談を行い、長岡花火や近年の異常気象、人口減少、議員活動の様子などについて意見交換し、互いに親睦を深めました。



議場にて記念撮影

